令和７年度第１回三沢市総合計画審議会　会議録

１ 日　　時　　令和７年１１月６日（木）
　開　　会　　午前１０時２５分
　閉　　会　　午前１１時２４分

２　場　　所　　三沢市役所　本館４階　大会議室

３　出席委員

会　長	熊野　稔	委　員	三浦文恵
委　員	藤森裕之	委　員	吉田　健
委　員	槇　公彦	委　員	藤田光彦
委　員	坂本幸子	委　員	渡辺　恵
委　員	米沢美幸	委　員	佐々木美佳
委　員	福田恵美子	委　員	栗澤洋子
委　員	小林英範	委　員	池添孝史
委　員	小川雅幸		

４　欠席委員

副会長	月舘　学	委　員	古間木勝弘
委　員	中屋敷一夫	委　員	亀山瑠香
委　員	田中静香		

５　事務局

政策部参事兼政策調整課長	長根隆弘
政策調整課課長補佐	一戸俊介
政策調整課企画戦略係長	白銀壮太郎
政策調整課主査	築場真衣子

６　案　　件　　第二次三沢市総合振興計画　後期基本計画【令和６年度】の実績報告について

７　資　　料
・次第
・席図
・三沢市総合計画審議会委員名簿
・『資料１－１』後期基本計画　実績報告書【令和６年度】
・『資料１－２』後期基本計画　実施計画【令和６年度】
・『資料１－３』後期基本計画【令和６年度実績】

８　会議概要　　別紙のとおり

発言者	発言内容
会長	【会長挨拶】
事務局	【以下の項目について事務局説明】 ・『資料１-1』第二次三沢市総合振興計画　後期基本計画実績報告書【令和６年度】 ・『資料１-2』第二次三沢市総合振興計画　後期基本計画実施計画書【令和６年度】 ・『資料１-3』第二次三沢市総合振興計画　後期基本計画【令和６年度実績】
委員	17 ページですが、55 番観光施設の利用数で、確かに観光施設は結構あるんですけど、町から離れた森の中とか。交通渋滞など困った問題ですが、今は十和田市も観光施設は市の町中にあって、美術館とか。そういう意味で私はあの寺山修司記念館は全国的にかなり有名な施設というか、寺山修司自体が今でも人気のある人でありますので、寺山修司記念館を例えば町中に移設して、まちを発展させ、人もどんどん呼び込むような対策などそういうのはありますか。
事務局	ただいまお話にありました、例えばの話だと思うのですが、寺山修司記念館の移設ということでございますが、寺山修司記念館は国の補助事業等を活用した施設となっておりまして、そうしますと移設するとしてもいろいろと障害のある部分があるというか、例えば建物の構造によってですが、処分するにしても 50 年そのままでは使えないとか、そういった決まりがございまして、寺山修司記念館を建設してからそんな年数も経っていませんし、また、ご存じかと思いますが、小田内沼のところに歌碑がございます。その辺の関連付けもあって現在のところに記念館があるのかなということで。今すぐということではありませんが、市街地に観光施設を持ってくることは、非常に集客を見込めるのかなと考えておりまして、関係部署と相談していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
委員	私は総論で。全体的な展開や、見通しとして後期基本計画の実績向上への組み込みのお願いをしたいと思います。現在、国・県においては、変化の激しい社会に対応したスピード感のある、多岐にわたる政策、それに伴う施策が現在進行形で実施されています。本市行政においても、三沢市総合振興計画 10 項目の政策実現のため、各施策によっては、新たな具体的方策、手段手法によっては、指標を具体に組み込んでいただきたいと思います。私案として、市民参加型予算の手法、市民への事案開示の手段、市民選択型採択の方策等があると思います。以上です。
事務局	今いただいた提案でございますが、予算であったりいろいろな事業の採択であったりということでございます。世の中めまぐるしく変わっておりますので、そういった手法も今後取り入れていかなければならないのかなと考えております。まずは予算というのは非常に重要な部分でございますので、財政当局の方とも相談しながらできることはやっていきつつ、やはり持続可能というの

	もありますので、その辺も考えながら進めていければと考えております。よろしくお願いいたします。
委員	言わずもがなですが、少子高齢化は各自治体困っている内容のひとつで、具体的に言うと16番3ページの町内会加入率、このあたりが自主防災も消防団も同じような状況で、加入がどんどん減っていると、現状は浮き彫りになっていると。対策がアパート等への転居者に対しチラシを渡して促すというようなことと、町内会の事務負担軽減策や町内会未加入者の若年層の取り入れを理解してもらう方策、更には町内会を脱会する高齢者世帯が増えないように、今の流れに沿っていくとこの対策で本当に達成できるのかなというような感覚を持っております。この見直しは5年、令和9年度までやるんでしょうが、途中で見直しをされる時期があるのか、このちょっと2点確認させていただきます。
事務局	まず1点目の町内会加入促進のための方策についてでございますが、こちらの方は担当課の方で今現在考えて実施している方策を記載しております。先ほど委員からもお話がありましたように、町内会の加入であったり、例えばその消防団、自主防、そういったものもいろいろと絡んでくる部分でございますので、その辺も総合的に考えて加入促進の方策を再度検討できればと全庁的に考えております。 それともうひとつでございますが、計画の見直しについては総合計画そのものが10年計画で、その中で5年間の前期・後期という計画となっております。 この指標については5年間で見直しはしませんが、その中でいろいろやっていく事務事業については毎年見直しつつ、この指標を達成するように進めておりますので、先ほどお話があった途中での見直しという部分でその率そのものの見直しはしませんが、それを達成するための事務事業は毎年見直ししております。以上です。
委員	この間、連合町内会で平川市に視察訪問に行ってまいりまして平川市ですごいアンケート調査していまして、市民の町内会に対する理解度とか、何を期待するかという、そういうアンケートは素晴らしいのですが、実態は三沢市と同じで、高齢者の問題とか役員をやってないとか。アンケート調査を見ますとやはり若い人がなかなか関心を持っていないと。そのアンケートは非常に価値あるもので、三沢市にとってもそういう市民の、特に若い世代に対するアンケート調査とか何かやるかことができるかどうか。
事務局	若い市民へのアンケートでございますけども、若い方だけではなくて、今後この計画は令和9年度で終了ということになります。令和10年度からまた新たな計画を策定するにあたって、来年度市民アンケートというものを予定しております。こちらは特に若い人、年配の方と分けているわけではなくて、不規則に選んで市民の方に対してアンケートをお願いする予定としておりますので、そのアンケートの調査項目のひとつとして、今お話がありました町内会に関することであったりとかを盛り込みたいと考えておりました。よろしくお願

	いします。
委員	ただいまの町内会にも一部町内会活動に関連もあるのですが、3ページの15番の挑戦のところの市民活動団体数が達成できてないというところなんですが、理由としてはまだＰＲ不足ということがあげられておりまして、そうなのかもしれないのですけども、八戸市の場合、市民活動団体をまとめる指定管理者の方がきめ細かにアンケートを毎年取っていて、それでどういうものが必要か、どういうことを希望してるかというようなことを細かく団体から声を吸い上げているということを毎年行っております。どうしても市や県などの施設の使用率を上げるためにＰＲということがあって、それがなかなかうまくいっていないということがよく挙げられるんですけれども、どうしても主催団体は発信したい情報ばかり出してしまうということがあるんですが、逆にその使う方がこういうことをしてほしいということを、吸い上げる工夫が必要かなと思います。そのアンケートによって、例えば活動する場所に困っている団体があったり、それから機器の問題ですね、パソコンがないとか、電話がないといったような、それらを使用したいという団体もありますし、それから方向性に困っているというところもある。そういうところのアンケートをとりながら、例えばそういう声の多かった部分を解消するための講座を開いて広く周知するように工夫をしたりというようなことをやっていて、それも非常に良い試みかなというふうに思っております。あとは活動団体を紹介する小冊子を毎年発行してるんですけども、最近のいろいろな詐欺とか問題もあって、個別の情報を公開したくないというところが増えてきまして、そういった団体でも自由に活動ができるようにということで指定管理者の方で事務局を設けて、そこが窓口となって、例えば会議を紹介したりとか、それから周知をしたりと、代わって行っているということもあるので、そういうことが周知されれば、登録団体も非常に使いやすいので増えているかなということで、ちょっとご参考までにお話をさせていただきます。 それともう1点ですね、15ページになるんですけれども、挑戦分野の52番、中学校3年生の英語検定取得率ということで、こちらも未達成になっております。わずかですけども。ぜひこのあたりは三沢市の魅力を活かして、ぜひこれは数値を上げていきたいなと思ったところなんですけども、前に少しお話したかとは思うんですが、英語検定ということだけにこだわらずに、今検定自体もいろんな種類が民間等の業者も含めてあります。実際大学の入試などでも例えば、検定試験を通って級を持っていれば、例えば英語の試験を免除するとか、入学してから英語をまず必修として取らなければいけない学科の場合でも、英語を免除すると。その代わりその空いた時間を他の科目に取れるというような単位を認めるということ、これはどこでもやっているんですけども、そういう意味で高校中学校の検定を上げると、これは英語に限らずなんですが、そういった資格とか。検定の級を持っていれば優遇しますということで、できるだけ多くの生徒さんにチャレンジしていただきたいということを行っております。

	そういう意味で言うと、英語検定ももちろんひとつなんですけども、例えばもっと手軽にチャレンジできるようなウェブなどでも取れる検定もあるんですね。例えばなかなか時間がないという学校の場合はそういったものも利用して、検定率を上げていくとか、というように手軽にチャレンジできるようなものがあれば更にいいのかなと。毎年の推移を見るために同じ検定の取得率というのをカウントするという意味ではすごくいいと思うんですけども、最終的には英語力を上げるということでいうと、他の検定も少し将来的に可能であれば入れていくというのも今の時代に合った状況かなと思いますので、それも検定率が上がるひとつのポイントかなと思っております。以上です。
事務局	まず1点目の市民活動団体についてですが、非常に八戸市は進んでますので今後参考にさせていただいて、団体数増加に向かうように担当課と進めていきたいと考えております。2点目の中学校3年生の英語検定の取得率についてでございますが、各学校でいろいろと取り組んでいただいて、生徒さん方に受験を促しているかと思います。今、委員がおっしゃったウェブを使ったりとかですね、そういったものがあるかとは思うんですけどもやはり高校生ぐらいになりますと、そのスマホをほとんどの生徒さんが持っておりまして、例えば通学途中でスマホを使ってやるとかというのもできるかと思います。高校生くらいですと良いかと思いますが、まだ中学生ですとなかなかその辺、親御さんだったり学校の環境だったりもあると思いますので、今すぐはできないかとは思いますが、非常に世の中がそういった日本の英検以外の英語資格を認めるような形になってきてますので、そういったものも資格のひとつとしてですね、今後取り入れていければいいのかなと考えておりました。
委員	先ほどの英語検定ですが、受検率は一緒だったということが書いてあるのですが、取得率が低下したということで、英検がちょっと内容変わってまして、今回それで下がったということもありました。取得率が下がっているところは方式も変わったからだと思います。あとそれに関わって、教育問題の47番の携帯電話の所持率が今上がり続けているということで、確かに学校の先生にも言われてます。親の責任じゃないですけれども、今ＰＴＡの方でもそこをどうやって解決していくかっていうのも今問題になっていまして、今年度はそこに力を入れていこうかなというのはありました。次に49番の電子図書ですね。今の子は携帯で見ていたりとか。私、図書館の電子図書の方も入らせていただいたんですが、ちょっと使いにくいところがまだありまして、そういったものも使えるようになったらもっと分野が広がっていくので、電子の利用者も利用率に入れてもいいんじゃないのかなと思います。以上です。
事務局	まず47番の携帯電話のお話でしたが、ＰＴＡさんの方でいろいろとやっていただいているということで、引き続きそういった問題にならないように活動して上手な使い方を生徒さんたちにしていただければと思います。49番の電子図書については、こちらもスタートしたばかりということで、なかなか利用者、どういった方が利用されるかとか、どういったニーズがあるかというのを

	まだ掴みきれていないというように伺っておりましたので、その辺も今後改善されていくと思いますので、まず次回もしくは次々回の会議あたりに報告できればと考えております。以上です。
委員	1ページの子育て支援センターの利用数を見て思ったことを申し上げたいと思います。三沢市は本当に子育て支援センター、各保育園・幼稚園さんだったり、いろんなところで多く活発に行われていて、代表的にそらいえさんにもたくさんの方が伺っているのが聞こえておりまして、実績率はすごいなと思っておりました。ただ、県外から来た方で、「そらいえがすごく良いと聞いたのですが、場所がわからない」という方に説明をするとき、実はちょっと難しいことがありまして、基地の前のところからまずちょっと入口というか奥まってますよね。あの建物の後ろだったり、ちょっと標識だったり看板だったりそういうようなもので知らない方にも周知できると、ますます活発にというか、利用できるのではないかなと思いました。あと公園のことなんですが、ちょっとページが変わりますけれども、公園もすごく多くて、整備されているものがあって、公園で遊ぶのを楽しみにしている親子も多いのですけれど、今年9月くらいでしたでしょうか。毛虫が大量発生して、遊びに行けないという話がちょっと聞こえてきて、聞こえてきたのが遅かったので連絡もできなかったのですけれども、市役所の方にすぐ連絡すればよかったなと思っておりましたが、やはりかなり蔓延して遊べない状態が続いてからの撤去作業といいますか、薬を撒いたりの作業があったみたいで、そういうところの管理も今後もしっかりと行っていただいて、私もこの頃はちゃんと見ていないのですが、例えば公園内で何かあったらここに連絡くださいというような表示があると、利用している方がちょっとここで困っているから市役所の都市整備課でしたでしょうか、そこの番号を入れるとか、そうすると昨今いたずら電話をする方もいると思いますけれども、そういうところを周知するとより回るようになるのではないかと思います。本日もいいお天気で園児も隣の中央公園にみんなで遊びに来ていたりして本当にたくさん利用させていただいて、ありがたく嬉しく思っておりました。以上です。
事務局	ありがとうございます。まずそらいえの案内表示です。私もそらいえにいたので、よく利用者の方からは入口が分かりにくいという声は聞いておりました。やはり幹線に面していないので通り過ぎてしまうという声もよく聞いております。こちらにつきましては担当課、それからその看板を設置する場所はどこが一番見やすいのかなど、そういったものもありますので、今後、市の公共施設全体として、市民にわかりやすい案内表示が必要なのかなと考えておりますので、庁内で検討したいと考えております。次に公園についてですけども、まず1点目の毛虫です。これは三沢市に限ったことではなくて、全県的に今年は酷かったというように聞いておりました。こちらの公園を管理する部署、それから直接ではなくて公園緑化公社というところに管理をお願いしているんですけども、そういった委託先等と連携を密に取りながら安全な公園管理とい

	うことで進めていけるように努めていきたいと思います。あと連絡先の表示についてですが、これは多分表示されてる施設と表示されてない施設があるかと思います。ただ一時避難場所等というように表示がされているところには、多分連絡先等もあるかとは思いますが、こちらは改めて担当課の方に確認して、もしできることであればやっていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
委員	３つぐらい前の案件に戻るんですが、町内会の加入率とか消防団、これはどの団体もというところで私も身を置いている三沢市商工会青年部、それから三沢商業の同窓会にも最近入らせてもらったんですけど、入る経緯としてはやっぱり今ＡＩとかスマホとかってありますけど、人の紹介だったり、何かしらに触れて入っていくっていう経緯を思い出したところで、やっぱりその加入条件とかいろんな会員の会則とかあると思うんですが、一旦まずちょっと誘ってみるというか、触れてみるところで何かいつの間にか加入になっていたっていう良い意味でごまかすやり方の方が今の時代としてはいいのかなとは思います。青年部に関しても、もちろん会員資格とか、いろんな内部規約あるんですけども、一旦忘年会に誘ってみるとか、七夕祭りでとにかく１回バラ焼きドックを売ってみるとか、そういうふうにして、三沢商業の同窓会入るときもそうでしたけども、特に理事ではなかったんですが、1回会議を見てみたらという中で、徐々に共通の知人であったりとか先輩だったりというところで誘っていただいたので、それぞれの団体に対しての会則等があるとは思うんですけども、そういう形で言葉の表現として巻き込んでいく、そういうスタイルが必要なのかなというのは、今のそれぞれの委員の話や市役所さんの話を聞いて思いました。以上です。